

美を訪ねて
 幢幡どうばんに描かれた

「飛鳥・藤原」を
 学ぶウォーク

No.2

定員
 100名
 参加無料

2017年

2月25日土

午前10時スタート(受付:午前9時30分)

出発
 受付

近鉄吉野線飛鳥駅前
 当日受付・班別に随時出発

主な行程



5 ゴール 国営飛鳥歴史公園
 キトラ古墳周辺地区

キトラ古墳鑑賞広場・四神の館・展望台
 周回の後、ミニ講演「幢幡」

キトラ古墳壁画
 朱雀(調査時)

四神の館
 展望台

藤原宮跡で発見された幢幡遺構(南から)
 (写真:奈良文化財研究所)
 ※藤原宮跡は行程に
 含まれておりません。

現地解散(近鉄壱阪山駅まで徒歩約15分)

コース
 約5.5km
 解説:飛鳥京観光協会ボランティアガイド・候補地ゆかりの発掘調査担当者

主催/世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会(奈良県・橿原市・桜井市・明日香村)
 共催/飛鳥京観光協会・飛鳥京観光協会ボランティアガイドの会
 (一社)橿原市観光協会・橿原市観光ボランティアガイドの会
 後援/国営飛鳥歴史公園 飛鳥・橿原ユネスコ協会

お問い合わせ
 0744-21-1114

「飛鳥・藤原」2016年のトピックス

1 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区のオープンと古墳壁画の特別公開 (2016年9月24日～)

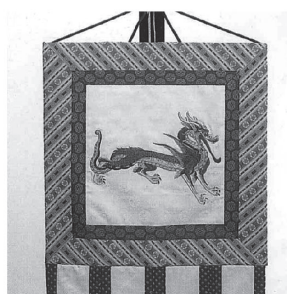
1983年に壁画が発見された特別史跡キトラ古墳を、周辺の景観と合わせて一体的に保全した、13.8haに及ぶ歴史公園です。国営飛鳥歴史公園5番目の地区として、2016年9月24日(土)に開園しました。公園内にはキトラ古墳を鑑賞できる広場、古墳や壁画、そして古代の飛鳥を分りやすく展示した「キトラ古墳壁画体験館 四神の館」を併設、期間限定で壁画の実物を展示しています。また、飛鳥に関わる農体験やクラフトなどのプログラムやイベントの開催など、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産や飛鳥の歴史・文化を、美しい田園景観の中で総合的に楽しめるガイド施設となっています。



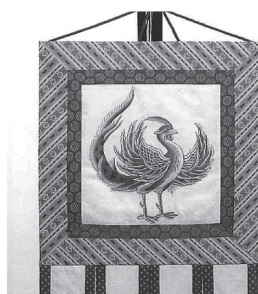
2 特別史跡藤原宮跡の幢幡遺構の発見 (2016年10月発表)

『続日本紀(しよくにほんぎ)』大宝元(701)年正月の「…大極殿の正面にカラスの飾りをつけた旗、左に日像・青龍・朱雀の旗、右に月像・玄武・白虎の旗を立て、外国の使者が左右に分かれて並んだ。ここに文物の儀礼が整備されたのである。」という律令国家成立を述べた記事を、その配置を含めて証明する大発見です。2016年には、中央と西の3基、鳥形・月像・玄武・白虎の柱穴を検出しました。

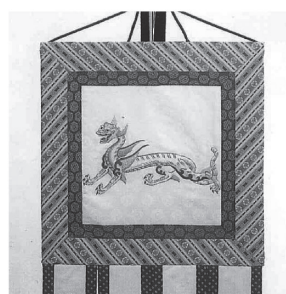
これまで発見されている最古の例であった、京都府木津川市の恭仁宮(くにきゅう)朝堂院を40年さかのぼる、わが国の最古例にあたります。



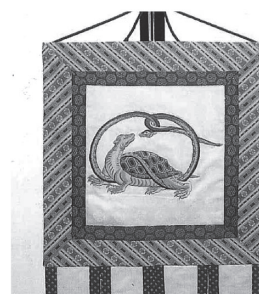
青龍幡



朱雀幡



白虎幡



玄武幡

(写真:奈良文化財研究所)

ウォーク参加にあたってのお願い

- 健康状態のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
- 出発前には各自準備運動を必ず行ってください。
- 天候等の理由によりコースを変更する場合があります。
- 交通ルールを守り、車両等には十分注意してください。
- スタッフの指示を必ず守り危険な行動は一切しないでください。
- 参加者の怪我や他に与えた損害については、主催者は一切の責任を負いません。
- タバコ等の火の始末は各自で責任を持って処理してください。
- ゴミは必ず持ち帰ってください。
- 自然を守り、植物等の採取はしないでください。
- 文化財は大切にしましょう。
- 当日は歩きやすい服装で昼食、飲み物、雨具、筆記具、健康保険証などは各自ご用意ください。